

2021年度 学校評価のまとめ

～ グリーン・ヒルズ 小学校、中学校～

1. 本年度の学校評価への取り組み

いいづな学園では、学校を運営する上での課題を明確にし、次年度の重点目標を設定するために、本年度より学校評価に取り組むこととした。また、学校関係者の思いや要望、教職員の思いや要望を的確に把握するためにも学校評価システムの構築に取り組んだ。

学校評価の流れ

2022年1月 保護者アンケートの実施
 2022年 2月 保護者アンケートを受けての自己評価
 2022年 3月 保護者に保護者アンケート結果を報告
 評価者に保護者アンケート・内部評価を公表、外部関係者評価実施
 評価方法:保護者・自己評価を受けての意見聞き取り及びアンケート調査
 2022年 5月 理事会及び評議員会で内部評価及び外部関係者評価結果を報告
 2022年 12月 ホームページに公開

2. 自己評価の結果について

今年度は「自然体験活動の充実と、「プロジェクト」による探究力の育成」「多様な文化や考え方を尊重し共生できる人を育てる」の2点重点目標として取り組んできた。国際バカロレアのプログラムの導入の中、過年度までのプロジェクトをどのようにしたらより深い探究につながるのか、どのようにこの2点の力を定着していくか、熱心に取り組んできたが、教職員の戸惑いもあった。また、保護者の方々への説明の不足など、十分な理解を得ることができなかった。このことが厳しい評価となったのではないか。

3. 外部関係者評価の結果について

今年度の評価者は、地域から1名及び学校教育活動に協力して頂いた方1名の計2名に依頼した。両氏ともに、保護者アンケートの結果を踏まえながらも学校を訪れた際の感想を含めた評価となっている。活動報告を行い、聞き取り調査を行う中で、学校運営や広報についてのご意見を頂いた。今後に活かしたい。

4. 来年度への課題

今年度の目標としてきた「自然体験活動を重視する中で、プロジェクト学習や基礎学習の向上をはかる」という点に関して、自然体験からプロジェクトへのつながりについては、成果が定着してきたものの教育課程や基礎学習との繋がりが見えにくい。

来年度は、国際バカロレアの認定に向けて、カリキュラムの作成を進め、丁寧にすり合わせるとともに、基礎学力についても広げていくよう丁寧な指導を行い、「自ら学ぶ姿勢」が身につくようつよくサポートしていく。

2021年度 グリーン・ヒルズ評価シート

2021年度グリーン・ヒルズの学校評価は以下のとおりとなりました。

A:評価できる B:やや評価できる C:やや評価できない D:評価できない

※ 評価段階 : A > B > C > D

項 目		評 価			
		保護者	内 部	外 部	
教育目標の達成	1	「自律性の伸長(自分の心と頭で考え、自分の判断で行動する力をつけること)」は、でき	A	B+	B+
	2	「関係性の深化(支え、支えられるより良い関係を自分から進んで築くこと)」はできたか。	B+	B	A
	3-1	今年度自然体験活動が十分できたか。	B	B+	B+
	3-2	自然体験から、探求力、基礎学力、関係性の充実が図れたか。	B+	B	
達成教育課程への満足度	4-1	(1) プロジェクト への満足度	B	B	B
	4-2	(2) 基礎学習 への満足度	C	C	
	4-3	(3) 自治活動 への満足度	A	B	
学習への姿勢	5-1	自分で学ぶべきと思うから	B	B	B
	5-2	学習や活動が楽しそうだから	B	B	
担任や友達たちとの関係	6-1	クラスの友達は私の学習や活動を助けてくれる	B+	B	B+
	6-2	クラスの友達は私のことを仲間だと思ってくれる	B	B+	
	6-3	クラスの友達は私の気持ちをよく考えてくれる	A	A	
	6-4	担任は私の学習や活動を助けてくれる	A	B+	
	6-5	担任は私のことを気にかけてくれる	B	B	
学校での思い	7-1	学校で新しいことに取り組むのが楽しい	B	B	
	7-2	自ら学習や活動に取り組んでいる	B	B	
	7-3	みんなで一緒に何かをしているときは楽しいと思う	A	B+	
	7-4	自分から進んで楽しく過ごそうとしている	B	B	
	7-5	学校では進んで話し合いに参加している	B	B	
保護者の意見	<p>小) いつも子供たちを見守っていただきありがとうございます。</p> <p>小) 基礎学習においては、保護者が適切に対応できるのが一番望ましいのですが、宿題(音読や計算、書き取り)は、課題を継続して出してもらえるとありがたいです。丸付けは、親ができると思いますので、親が担当分を設定していただけるといいかなと考えております。</p> <p>小) 先生方の仕事量(授業、研修、雑務等)が多く、心身ともに維持していけるのか心配</p> <p>小) 理科に専科の先生が入り、専門的に教えてくれているのがとても良いと思いました。一方、他の科目は自主性に任せている傾向のため、我が子の場合には、国語、算数、洋裁について基礎基本が身につきました。</p> <p>中) 課外活動、プロジェクトは飯綱グリーン・ヒルズの良さと、大変有難く、貴重な体験で嬉しく思っています。</p> <p>中) 学習面では、中学生なので、小テストやテストがあると、何が分かっていないのか、振り返りができるので、テスト慣れもできるので、ありがたいのかなと思います。</p>				

内部評価	<p>学校の目標である「自律性の伸長」と「関係性の深化」の項目はほぼ評価が定着しているものの、A評価の減少がみられ満足度が低下している。個々の内容について検証し対策をしたい。リンゴ園、SDGsへの取り組み等小学校のプロジェクトの評価は高いが、中学校のプロジェクトへの課題が大きい。思春期の生徒の気持ちに沿うことと、自律学習者として自ら学ぶという姿勢については、動機の確立が不十分であった。</p> <p>今年度の重点目標「自然体験活動を重視する中で、プロジェクト学習や基礎学習の向上をはかる」については、前年度からプロジェクトなどの活動や、疑問を追求する姿は充実してきているが、学習指導要領との関連及び基礎学習との結び付けについて検証が必要である。</p>
外 ご 部 意 評 見 価 の	<p>定期的に学校を訪問する機会があり、今年度はグリーン・ヒルズの転換期ということを知りました。学校内も掲示が増え、子どもたちの学ぶ姿も集中力や眼の輝きが変わってきていることが感じられます。</p> <p>まだまだ手探りとのことで、保護者さんへの説明や理解が十分とは言えないようで、厳しい評価もあるようですが、子どもたちの成長を力に、頑張ってくださいと思います。</p> <p>アンケートの中で、子ども自身の学習への意欲の項目に評価の低下がみられるが、国際バカロレアの導入についての戸惑いや、不安の表れではないか。子どもの気持ちに寄り添うとともに、今までグリーン・ヒルズが大切にしてきた、自然の中での体験からの学びをさらに充実していくことで、保護者の安心感や子どもの学びの意欲につながるのではないかと。</p>
来 年 度 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、生徒数の減少により集団活動の成立が難しい(特に中学校)。教育内容の充実し魅力あるものにすると共に広報を検討する必要がある。 ・自然体験活動をカリキュラムへ位置づけるとともに、国際バカロレアの過程と、教育課程への位置づけを行う。

【次年度の重点目標】

- 「環境を活かした教育の充実により五感を育む」
- 「IBのプログラムによる探究を充実する」
- 「基礎学力の定着を図る」